

Nataliya Podolyak

沖縄キリスト教短期大学 保育科 准教授

【プロフィール】

取得学位、 大学・機関、取得年	<ul style="list-style-type: none"> ・リブイブ国立体育大学(保健体育とスポーツ学 士、1997年) ・東亜大学(人間科学修士、2014年) ・久留米大学大学院(保健福祉学博士、2018年) 	
専門分野	体育、保健教育、障害児教育	
研究分野	幼児体育、幼児の生活、運動遊び	
研究職歴等	<p>平成 19 年～平成 24 年度 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業(新規分)事業名「筑後川流域圏における産学官民協働と地域コミュニティ開発に関する研究—健康生きがいのあるまちづくりを中心に—」、共同研究者・実行委員、2007年～2011年</p> <p>久留米大学比較文化研究科、研究員 2012—2019年</p> <p>久留米大学文学部、非常勤講師 2012—2023年</p> <p>沖縄キリスト教短期大学保育科、准教授 2021年4月—</p>	
担当科目	幼児体育Ⅰ、幼児体育Ⅱ、健康指導法など	

【研究活動業績】

研究業績 (主要論文・著書) (著書)	『ソーシャルワーク演習のための88事例～実践につながる理論と技法を学ぶ～』 共著、2013年4月、中央法規出版
研究業績 (主要論文・著書) (論文)	<p>『授業「健康指導法」の受講における幼児の健康についての認識変化』2023年2月、沖縄キリスト教短期大学保育科論集、第4号、21-30pp</p> <p>『大学生の生活習慣と健康の状況について』2023年1月、沖縄キリスト教短期大学紀要第52号、55-67pp</p> <p>『幼児の運動能力と社会性の向上を促す運動遊びプログラム実践と効果』2022年1月、沖縄キリスト教短期大学紀要、51;25-34pp</p> <p>『大学における体験型学習の効果について～キャンプ実習を中心に～』2022年1月、沖縄キリスト教短期大学保育科論集、第3号、107—117pp</p> <p>『幼児の運動能力と運動遊びの実態に関する研究』2017年2月、日本比較文化学会『比較文化研究』第125号、13-22pp</p> <p>『中学生の障害児・者への受容行動変容を促す学習プログラム実践と効果の検討』2015年12月、日本比較文化学会『比較文化研究』第119号、263—274pp</p> <p>『保育園児の運動遊びに関する保護者の意識調査』2015年10月、日本比較文化学会『比較文化研究』第118号、239—248pp.</p> <p>『福岡県における特別支援教育体制整備等状況に関する研究』2012年2月、日本比較文化学会『比較文化研究』第103号、123—133pp</p> <p>『児童の思いやり意識育成のための障害理解学習の意義について』2011年2月、日</p>



	<p>本比較文化学会『比較文化研究』 第 95 号、115－126pp 『精神保健福祉士のスクールソーシャルワーク業務に関する検討』(共著)2010 年 12 月、久留米大学健康・スポーツ科学センター研究紀要 第 18 巻、39－46pp 『学習教育と福祉体験を組み合わせた交流教育の効果～交流教育のフィールドワークを通して～』2010 年 11 月、日本比較文化学会『比較文化研究』 第 94 号、331－340pp 『ウクライナにおける障害をもつ子どもへのインクルージョン』2010 年 3 月、日本比較文化学会『比較文化研究』 第 91 号、107－116pp 『チェルノブイリ原発事故の社会的影響の分析に関する研究』2009 年 11 月、日本比較文化学会『比較文化研究』 第 89 号、161-172pp 『福祉学科専攻大学生と看護学科専攻学生の子育てイメージ比較』(共著)2007 年 12 月、久留米大学文学部心理学科・大学院心理研究科紀要 第 6 号、21－28pp 『社会福祉学科専攻大学 1・2 年生と 3・4 年生の子育てイメージ比較』(共著)、2007 年 3 月、久留米大学文学部心理学科・大学院心理研究科紀要 第 6 号、91－98pp</p>
研究業績 (学会発表など)	<p>日本社会分析学会、『ウクライナにおけるポスト・チェルノブイリ現状と課題』、2006 年 12 月 精神保健福祉学会、『ウクライナにおけるポスト・チェルノブイリ時代の国民の意識変化』、2007 年 6 月 環境福祉学会、『ウクライナにおけるポスト・チェルノブイリ時代の環境と国民健康問題について』、2010 年 10 月 日本幼児体育学会、『運動遊びは幼児の運動能力と社会性に及ぼす影響について』、2014 年 8 月</p>
社会活動等	<p>久留米大学生と地域との交流イベント『タグラクビー体験教室』、2016 年 12 月 久留米市立御井小学校(新体カテスト実施支援ボランティア)、2016 年 5 月 「ゆにばの杜」交流会の会員として(留学生支援ボランティア)、2014 年 5 月～2017 年 3 月 久留米市立御井小学校(新体カテスト実施支援ボランティア)、2015 年 5 月 久留米市立御井小学校(オリジナル動遊びプログラム実践及び普及活動)、2014 年 11～12 月 久留米市立御井小学校(オリジナル動遊びプログラム実践及び普及活動)、2014 年 5～7 月 JOC ジュニアオリンピック選手強化トレーニングセミナー(指導)、2011 年 8 月 JOC ジュニアオリンピック選手強化トレーニングセミナー(指導)、2010 年 8 月 福岡県立少年自然の家「玄海の家」平和教育講座、2009 年 8 月</p>
所属学会	<p>日本保育学会 日本幼児体育学会 九州体育・スポーツ学会 日本発育発達学会</p>

一言	<p>あきらめない!!! 夢を追って、失敗してもいいじゃない。それでも何とかなるものよ。(マヤ・アンジェロウ)</p>
----	---



夢を、人生を、やっていることを、今からやろうとしていることなどをあきらめない！！
あきらめたらそこで終わりです。難しくても、ありえなくても、何もかもうまくいかなくても、休憩してもいいし、一歩一歩が小さくてもいいし、ゆっくりでもいいのであきらめず、自分を信じて、前に進むこと。